

1. 秋田県環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	244,577,803	
	内訳	うち、国費相当額	122,288,901
		うち、地方負担相当額	122,288,902
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	4,886	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	38,586,342	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	205,996,347	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	102,998,173
		うち、地方負担相当額	102,998,174
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		205,996,347	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		204,381,350	
⑩	保有割合		1.01	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠  
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)  
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等				
1	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	2,069,362	0	2,069,362	55.0%	2,405,000	12,025,000
2	環境活動推進事業	8,868,048	793,667	8,074,381	47.5%	11,525,700	51,628,500
3	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	19,445,383	6,883,110	12,562,273	53.0%	11,811,920	59,054,600
4	自然公園美化対策事業	1,217,000	0	1,217,000	50.0%	1,473,000	7,365,000
5	白神山地利活用推進事業	4,239,341	207,841	4,031,500	65.0%	14,108,000	17,880,000
6	生物多様性地域戦略推進事業	2,613,235	0	2,613,235	28.0%	3,004,100	15,020,500
7	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	1,906,900	100,000	1,806,900	44.0%	2,550,000	12,750,000
8	リサイクル製品普及啓発事業	590,141	0	590,141	97.4%		
9	環境あきたエコ活動促進事業	2,750,000	0	2,750,000	68.2%	2,750,000	13,750,000
10	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	2,871,550	0	2,871,550	25.0%	2,981,550	14,907,750
11		0					
12		0					
13		0					
14		0					
15		0					
合 計		46,570,960	7,984,618	38,586,342		52,609,270	204,381,350

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	環境保全に関する調査における県民の「環境保全活動への参加率」について、2027年度までに80%を達成する。	
	成果実績	71.7%
	目標値	80.0%
	達成度	89.6%

## 令和4年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成26年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 八郎湖の環境や水質保全の意識や重要性について流域住民の理解を深め、協働活動等の参加を促進するため、環境学習の機会を広く継続的に提供する。</p> <p>【目標】 湖沼水質保全計画における八郎湖（湖心）のCOD目標値を指標とする。 ※2020年度現在の目標値 ＝第3期湖沼水質保全計画（最終2024年度（令和6年度））の目標値 八郎湖（湖心）のCOD7.1 ※2025年度以降の目標値は、2025年度に策定予定の第4期湖沼水質保全計画で定める。</p>
---

## 2. 概要

<p>八郎湖の環境や水質について学習し、八郎湖周辺の自然に接する機会を増やすことで八郎湖への理解や関心を深めるとともに、その機会を継続して提供することで、地域全体の環境保全意識を高め定着させる。</p> <p>(1) 水生生物等に関する出前授業や環境学習交流会の開催 (2) 学校等への環境副読本の配付 (3) 親子体験型イベントの開催</p>
--

## 3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"><li>湖沼水質保全特別措置法</li><li>第3次秋田県環境基本計画</li><li>八郎湖に係る湖沼水質保全計画（第3期）</li></ul>
--

## 4. 実施内容等

<p>①八郎湖環境学習推進事業 主に八郎湖流域の小学生等を対象とした出前授業や環境学習交流会を民間団体へ委託して実施した。 計41回（延べ参加人数1,252人）の出前授業を実施し、7月30日に行われた環境学習交流会には計48人が参加した。</p> <p>②環境学習副読本の作成配布 小学校5年生を対象とした環境副読本（A4、カラー、8ページ）を1,000部作成し、八郎湖流域の全小学校の5年生全員及び関係機関に配布した。</p> <p>③親子体験型イベント（八郎湖ワークショップ） 八郎湖をフィールドとして活動している団体との共催による親子体験型イベントを開催した。 漁船乗船体験等により八郎湖の水質改善等を考える契機とした。 開催日：令和4年11月12日、開催場所：八郎湖周辺、対象：小学校3～6年生とその保護者 参加者1組2名。</p>
--

## 令和4年度 事業報告書

事業名	八郎湖「わがみずうみ」創生事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖沼水質保全計画推進事業（八郎湖環境学習推進）	開始年度	平成26年度
担当部署	環境管理課八郎湖環境対策室	終了年度	令和9年度

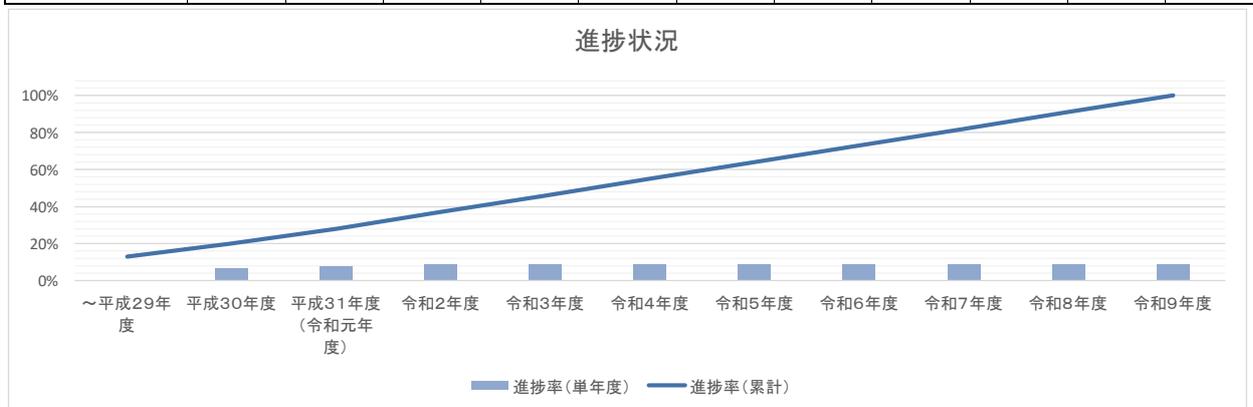
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
講師謝礼	20,000		20,000	講師謝礼
印刷製本費	164,456		164,456	副読本作成等
借料	53,350		53,350	バス借上料、会場使用料
委託費	1,831,556		1,831,556	環境学習出前授業・交流会委託一式
負担金	0			
合計	2,069,362	0	2,069,362	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		1,546	1,675	1,750	1,720	2,070	2,405	2,405	2,405	2,405	2,405
事業費 (累計)	4,623	6,169	7,844	9,594	11,314	13,384	15,789	18,194	20,599	23,004	25,409

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	8%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%
進捗率 (累計)	13%	20%	28%	37%	46%	55%	64%	73%	82%	91%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育等推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和4年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

地球温暖化などの環境問題解決のため、環境保全活動に携わる人材を育成していく必要がある。そのために、環境学習の機会や取組を実践する意識醸成のための啓発が重要なため、環境保全の大切さや取組内容等について啓発することで、県民の環境保全意識を醸成し、自主的な環境保全に関する取組を促進する。

## 【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で4,179千トン-CO2削減する。  
※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で54%（6,078千トン-CO2）削減することを目標としている。

## 2. 概要

- ・学校や子どもエコクラブに対し、環境教育に関する教材や環境活動物資を支援することで、環境保全意識を醸成し、自主的な取組を促進する。
- ・環境大賞として環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰し、その活動事例を広く県民に紹介することにより、県民の環境保全に関する自主的な取組を促進する。

## 3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県環境基本計画
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・第2次秋田県環境教育等に関する行動計画

## 4. 実施内容等

## ①学校・子どもエコクラブへの環境教育支援

県内各学校に応募を募り、秋田県立大曲支援学校、秋田県立比内支援学校、秋田県立新屋高等学校、大館市立有浦小学校、大館市立横堀小学校、秋田県立支援学校天王みどり学園、羽後町立羽後明成小学校、秋田県立秋田南高等学校、由利本荘市立西目中学校、秋田県立比内支援学校たかのすの10校を環境教育支援校に指定した。また、各校から要望のあった環境教育・環境学習に係る物品を提供し、環境学習の支援を行った。  
子どもエコクラブへの環境教育支援としては、令和4年度に登録されている子どもエコクラブからの活動報告をとりまとめ、子どもエコクラブ活動報告集2022を1000部作成し、子どもエコクラブ、小・中学校、幼稚園等へ送付した。

## ②環境大賞の表彰

個人又は団体が秋田県内で実践している環境保全活動の事例を募集したところ、個人・団体の2部門に13件の応募があり、選考委員会で5者（1個人・4団体）を環境大賞受賞者に選定した。  
10月にアルヴェ1階で開催されたあきたエコ&リサイクルフェスティバルにおいて表彰式を行い、賞状並びに副賞（楯）を授与し、広く県民に紹介するなど、県民の自主的な取組の促進を図ることができた。

## ・応募部門内訳

- 個人部門1件、団体部門12件
- 令和4年度環境大賞受賞者
  - 個人部門：照井 昌子（横手市）「地球温暖化防止の推進」
  - 団体部門：特定非営利活動法人おのぼホテル会（秋田市）「美しい田園 ホテルの住める故郷へ」
  - 団体部門：伊藤工業株式会社（秋田市）「秋田の出入口 秋田空港道路周辺のクリーンアップ」
  - 団体部門：炭やきで夕日の松原まもり隊（秋田市）「炭やきで松くい虫から夕日の松原をまもる」
  - 団体部門：秋田自然史研究会（秋田市）「秋田の自然を調査、記録し、後世に引き継ぐ活動」

## ③SDGsに係わる講師の派遣

県内各学校を対象にSDGsの環境関連ゴールに関する講師を派遣。気候変動など地球環境等に焦点を当てSDGsとの関連性や目標達成に向けた取組（自分たちに何が出来るか）をワークショップ形式で学び考える講座を実施した。

## ・事業実施校

- 小学校4校（大館市 中仙小学校、大館市 横堀小学校、大館市 成章小学校、大館市 川口小学校）
- 中学校3校（仙北市 神代中学校、美郷町 美郷中学校、大館市 大曲南中学校）
- 高校 2校（秋田商業高校、能代高校）
- 大学 1校（秋田県立大学 生物資源科学部）

令和4年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育等推進事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和4年度

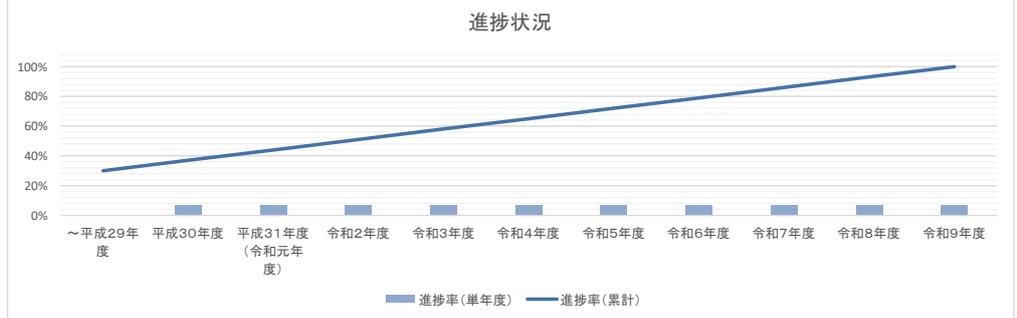
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	125,000	40,000	85,000	
職員旅費	44,600	44,600	0	
その他旅費	161,002	5,809	155,193	
印刷製本費	71,500	0	71,500	
消耗品費	726,224	0	726,224	
通信運搬費	48,002	1,258	46,744	
筆耕料	17,020	0	17,020	
委託料	249,700	0	249,700	
合計	1,443,048	91,667	1,351,381	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		990	1,208	1,159	920	1,444	2,104	2,104	2,104	2,104	2,104
事業費 (累計)	854	1,844	3,052	4,211	5,131	6,575	8,679	10,783	12,887	14,991	17,095

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	「あきエコどんどんプロジェクト」による環境配慮普及事業	開始年度	令和3年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

地球規模で気候変動対策などの環境問題が喫緊の課題となっており、環境保全活動の実践の重要性が増してきている。環境問題を解決し、持続可能な社会の実現を目指すためには、県民、特に秋田県の将来を担う若年層の意識を変容し、行動に繋げていく必要がある。このことから、スマホアプリを活用し、若い世代を中心として誰でも気軽に環境に配慮した行動を取ることができる機会を提供し、CO2削減量の見える化を図りながら環境保全活動を促進する。

## 【目標】

第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。

## 2. 概要

・省エネやごみ減量などの環境に配慮した行動（エコアクション）を実践するとポイントが付与され、一定量のポイントが貯まると抽選で商品が貰えるアプリを活用した環境保全活動の促進。また、エコアクションに応じて削減されたCO2の量を数値化し、取組を見える化した。

## 3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県環境基本計画
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境教育等に関する行動計画

## 4. 実施内容等

・スマホアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」の運営  
環境教育や地球温暖化防止対策に取り組んでいる事業者が開発したスマートフォンのアプリ（「あきエコどんどんプロジェクト」）を県民に使用してもらい、地域における環境保全活動の実践を促進する。  
このため、県は、同事業者とアプリの使用に係るライセンス契約や保守管理等の業務委託契約を締結し、事業を進めている。

## 【実績】（R4年度末）

- ・登録者数：累計3,274人（R4年度のみ：1,134人）
- ・エコアクション数：112,867回
- ・CO2削減量：30,434kg

## 令和4年度 事業報告書

事業名	環境活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	「あきエコどんどんプロジェクト」による環境配慮普及事業	開始年度	令和3年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

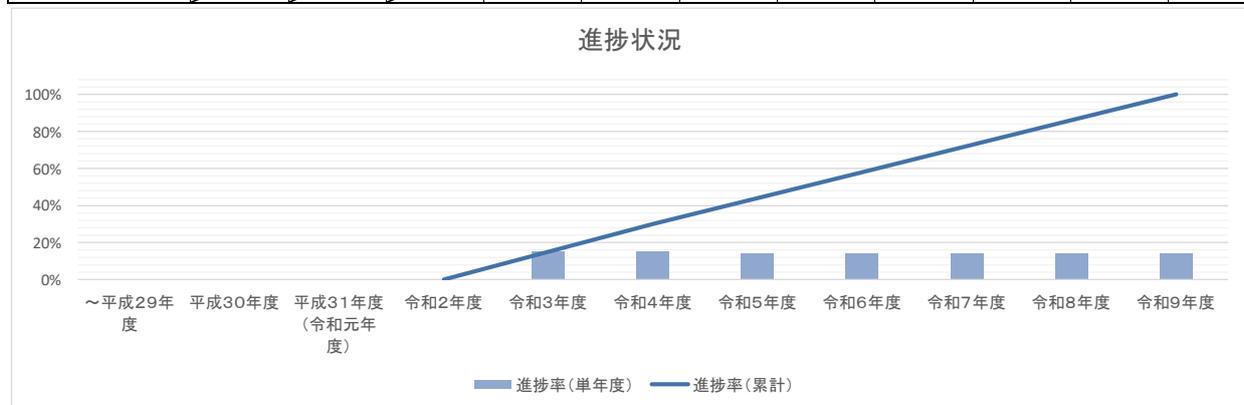
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	7,425,000	702,000	6,723,000	
負担金	0			
合計	7,425,000	702,000	6,723,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					7,150	7,425	7,556	7,556	7,556	7,556	7,556
事業費(累計)					7,150	14,575	22,131	29,687	37,243	44,799	52,355

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					15%	15%	14%	14%	14%	14%	14%
進捗率(累計)				0%	15%	30%	44%	58%	72%	86%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田県地球温暖化対策推進計画啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b> 秋田県における温室効果ガスの削減と脱炭素社会の実現に向け、環境問題に関心・意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加による地球温暖化対策を展開する。</p> <p><b>【目標】</b> 秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。 ※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。なお、今年度に当計画を改定するが新たな目標水準は現行と同等以上になる見込み。</p>
--

2. 概要

<p>地球温暖化の対策には、その原因物質である温室効果ガスの排出量を削減する（または植林などによって吸収量を増加させる）「緩和策」と、最大限の排出削減努力を行っても、既に排出した温室効果ガスの大気中への蓄積があり、ある程度の気候変化は避けられないため、こうした気候変化に対し自然生態系や社会・経済システムを調整することにより温暖化の悪影響を軽減する（または温暖化の好影響を増長させる）「適応策」があり、これらは両輪となっている。</p> <p>令和4年3月に改定を行う第2次秋田県地球温暖化対策推進計画は、本県の「地方公共団体実行計画（区域施策編）」「地域気候変動適応計画」に位置付け、地域における脱炭素社会の実現に向けた取組等について、緩和策・適応策の両面から周知を図るとともに、県民の意識醸成と環境配慮行動の定着を目指し普及啓発を実施する。</p>
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策の推進に関する法律</li> <li>・気候変動適応法</li> <li>・秋田県地球温暖化対策推進条例</li> <li>・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画</li> <li>・秋田県環境基本条例</li> <li>・第3次秋田県環境基本計画</li> </ul>
---

4. 実施内容等

<p>第2次秋田県地球温暖化対策推進計画の普及啓発を目的としたパンフレット（2,000部）や動画（1本）を作成し、イベントやセミナー等で活用するほか、ネットメディア等を通じた配信（総再生回数82,200回）や映画館（2本、計56日）での放映を行った。また、学生等を対象としたセミナー（参加者97人）や幅広い年齢層の県民を対象としたワークショップ（2回、参加者計31人）、ウェブサイトを通じて本県の気候変動影響及び気候変動適応に関する理解の促進を図った。</p>
--

## 令和4年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	秋田県地球温暖化対策推進計画啓発事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

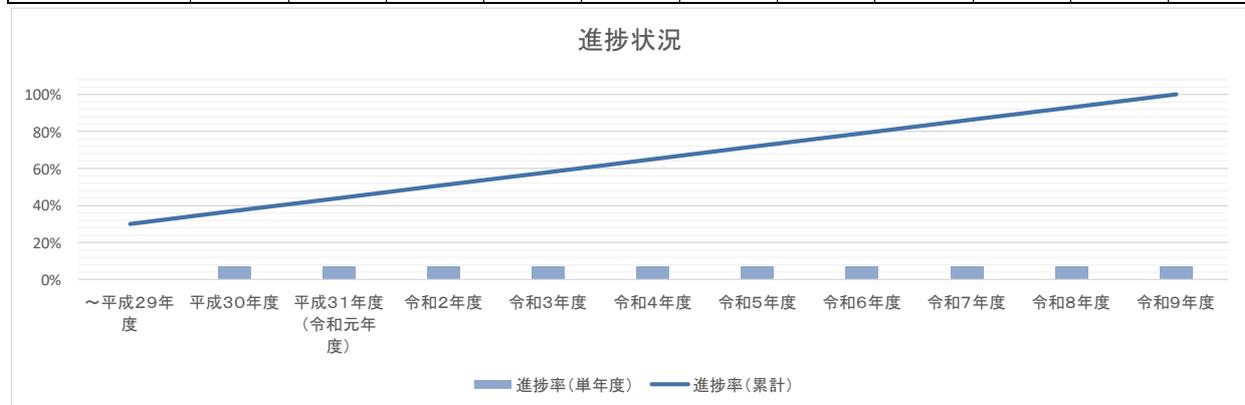
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
講師謝金	152,000		152,000	
講師旅費	99,958		99,958	
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	4,536,400		4,536,400	
使用料	13,350		13,350	
合計	4,801,708	0	4,801,708	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		381	1,130	40	53	4,802	3,364	3,364	3,364	3,364	3,364
事業費 (累計)		381	1,511	1,551	1,604	6,406	9,770	13,134	16,498	19,862	23,226

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率 (累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

秋田県地球温暖化防止活動推進センターの活動を支援し、地球温暖化対策において重要な取組みである「環境教育・普及啓発」を効果的に推進する。

## 【目標】

秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。

※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。

## 2. 概要

地球温暖化対策推進法に基づく秋田県地球温暖化防止活動推進センター（地域センター）の機能を強化し、活動の担い手となる人材の育成とともに、地域主体の自主的な取組みを一体的に推進する。

## 3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

## 4. 実施内容等

- （1）環境教育・地球温暖化防止活動の拠点の運営【基金対象外】
- （2）温暖化対策人材育成
  - 対象：秋田県地球温暖化防止活動推進員、あきたエコマイスター 等
    - ・新規推進員等を対象とした基礎研修会の開催（3回、計59名参加）
    - ・推進員の活動を補完するための視察研修の開催（2回、計28名参加）
    - ・推進員等のスキルアップを図るエキスパート研修の開催（3回、計44名参加）
- （3）環境あきた県民塾
 

地球温暖化やごみ問題など、環境をテーマにした講座を開催。（秋田市、全9回、7～12月）

対象：一般県民

受講者34名、うち修了生22名、エコマイスター登録22名

地域の環境保全活動のリーダーとして県から登録を受けている「あきたエコマイスター」の活動等について周知し、県民の環境保全活動意欲を増進する。

規格：A3二つ折りリーフレット、再生マット紙、カラー

発行回数：年2回（7月、2月）

発行部数：各2,000部（計4,000部）

配布先：市町村、学校関係等
- （4）地域の環境活動支援事業
 

市町村、学校及び住民団体等が主催する環境保全に関する講演会、学習会等へ講師等を派遣。

派遣回数：36（受講参加延べ人数：683）

## 令和4年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域センター強化支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

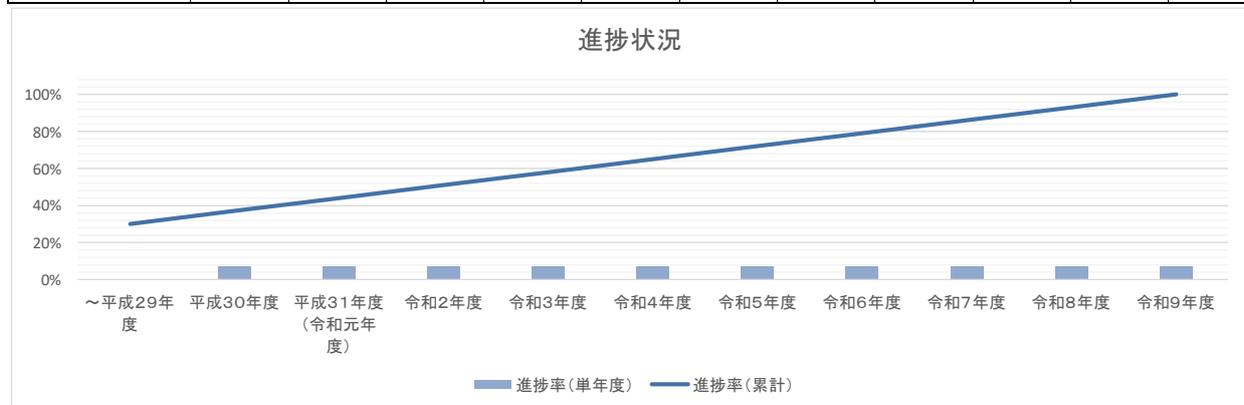
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	13,844,201	6,883,110	6,961,091	
負担金	0			
合計	13,844,201	6,883,110	6,961,091	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)			13,025	12,996	13,001	13,845	14,973	14,973	14,973	14,973	14,973
事業費(累計)		0	13,025	26,021	39,022	52,867	67,840	82,813	97,786	112,759	127,732

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

【目的】  
環境問題に関心、意欲が高い県民や団体及び事業者などの様々な主体と連携する場を創出し、活動の実践につなげること等により、県民総参加運動の体制を構築する。

【目標】  
秋田県における温室効果ガス排出量を、森林吸収量を除いた省エネ等による手法で2027年度に2013年度比で981千トン-CO2削減する。  
※第2次秋田県地球温暖化対策推進計画においては、温室効果ガス排出量を森林吸収量を含めた省エネ等による手法で2030年度に2013年度比で26%（2,638千トン-CO2）削減することを目標としている。

## 2. 概要

地域の環境保全活動のリーダーとして、県から登録を受けている「あきたエコマイスター」からなる協議会に対し、一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催を委託することにより、県民の環境保全意識の醸成を図る。

## 3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第2次秋田県環境基本計画

## 4. 実施内容等

- (1) 県北・県央・県南のあきたエコマイスター協議会に対し、各地域の一般県民向けの環境学習会や施設見学会等の開催について委託。  
13事業を実施し、約320名が参加した。
- (2) 3協議会による協議会代表者会議を開催し、他地域との情報交換や課題の協議を行った。
  - ・日 時：令和5年3月16日（木）
  - ・場 所：林泉会館2階 大会議室
  - ・参加者：県北協議会2名、県央協議会2名、県南協議会2名  
秋田県地球温暖化防止活動推進センター2名

## 令和4年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	エコマイスター協議会支援事業	開始年度	平成29年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

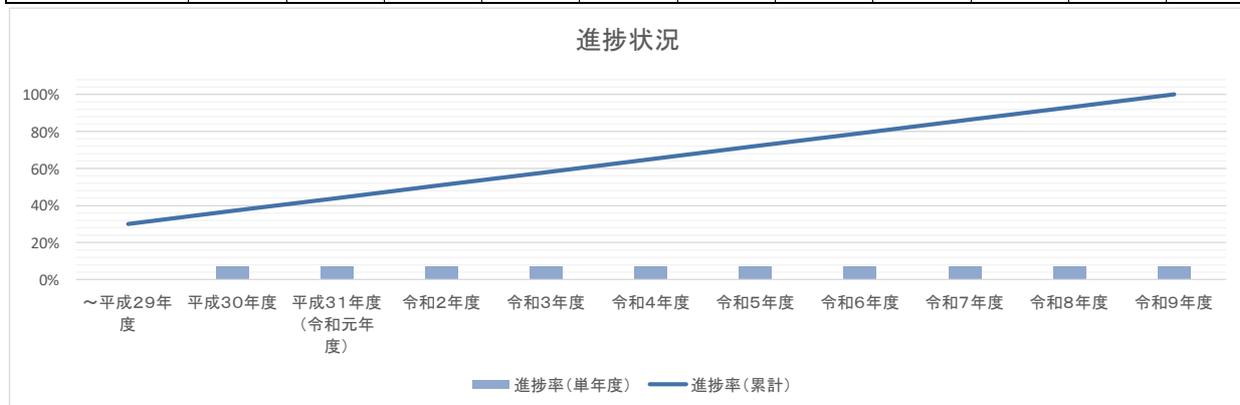
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	19,328		19,328	エコマイスター3協議会連絡調整会議旅費
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	583,976		583,976	エコマイスター3協議会活動委託（県北：160,596円、県央：190,000円、県南：233,380円）
負担金	0			
合計	603,304	0	603,304	（単位：円）

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 （令和元年度）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		769	750	446	351	604	811	811	811	811	811
事業費（累計）		769	1,519	1,965	2,316	2,920	3,731	4,542	5,353	6,164	6,975

## 6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 （令和元年度）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率（累計）	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	我が家の快適化促進事業	開始年度	令和4年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

全国と比較し多くの割合を占めている民生家庭部門からの温室効果ガス排出量の削減を目指す。

## 【目標】

令和4年3月に改定した「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」においては、2030年度における温室効果ガス排出量を森林吸収量も含め2013年度比で5.4%削減することを目標に掲げており、民生家庭部門においては5.2%の削減を目標としている。

## 2. 概要

地球温暖化対策に係る県民意識の醸成や行動変容を促すため、住宅の断熱化や省エネルギー設備等に関する普及啓発を実施し、本県の民生家庭部門からの温室効果ガス排出量の削減を目指す。

## 3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・秋田県地球温暖化対策推進条例
- ・第2次秋田県地球温暖化対策推進計画
- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

## 4. 実施内容等

家庭からの温室効果ガス削減を図るため、有識者等で構成する検討会を開催（9月、11月）し、本県における有効な対策とその効果について検討・整理するとともに、県民が身近に取り組める住宅の省エネ対策を中心にパンフレット（2,000部）にとりまとめ、ホームセンター等を通じて県民へ配布することにより、県民の意識醸成と行動変容を促した。

また、住宅の新築・リフォーム等を検討する県民に対して、断熱等の住宅性能の向上が省エネに貢献し、家庭からの温室効果ガス削減につながることを分かりやすく伝えるため、建築関係事業者等を対象とした「我が家の脱炭素化促進セミナー」をWeb開催（配信2月20日～3月5日）し、48事業者73名の参加があった。

## 令和4年度 事業報告書

事業名	ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	我が家の快適化促進事業	開始年度	令和4年度
担当部署	温暖化対策課	終了年度	令和9年度

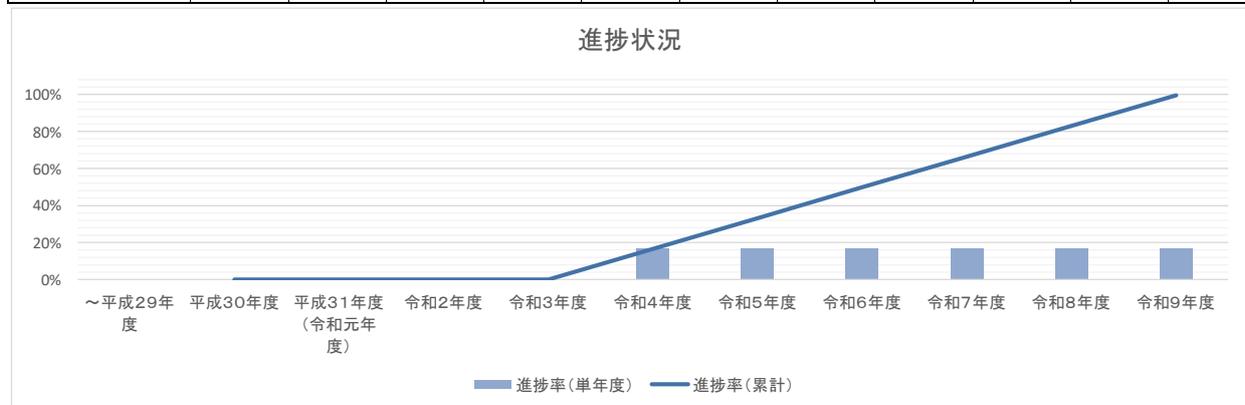
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委員旅費	7,770	0	7,770	協議会委員4名×2回
委員報償費	80,000	0	80,000	協議会委員4名×2回
印刷製本費	48,400	0	48,400	パンフレット2,000部
講師謝礼	60,000	0	60,000	建築事業者等向けセミナー
	0			
	0			
合計	196,170	0	196,170	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)						197	664	664	664	664	664
事業費(累計)		0	0	0	0	197	861	1,525	2,189	2,853	3,517

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)						17%	17%	17%	17%	17%	17%
進捗率(累計)		0%	0%	0%	0%	17%	33%	50%	66%	83%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

優れた風致景観を有する自然公園内において放置ゴミ等を回収・処理する美化清掃活動と不法投棄防止の啓発活動を支援することによって、国立公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。  
2027年までに回収されるゴミの量を年間あたり3t以下にする。

## 2. 概要

地元で清掃活動団体を育成し、その活動に対して補助金を交付し支援することで、国立公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。  
また、不法投棄防止の啓蒙活動をすることで、ゴミの排出抑制につなげる。

## 3. 根拠法令等

- ・自然公園法第19条
- ・秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

## 4. 実施内容等

- 国立公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ補助金を交付した。
- 十和田八幡平国立公園において、2団体が1.1トンのゴミを回収した。  
内 訳：一般社団法人十和田湖国立公園協会（十和田八幡平国立公園十和田地区）0.1トン  
八幡平を美しくする会南八幡平支部（十和田八幡平国立公園秋田駒ヶ岳地区）1.0トン  
時 期：令和4年4月～令和5年3月

令和4年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国立公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

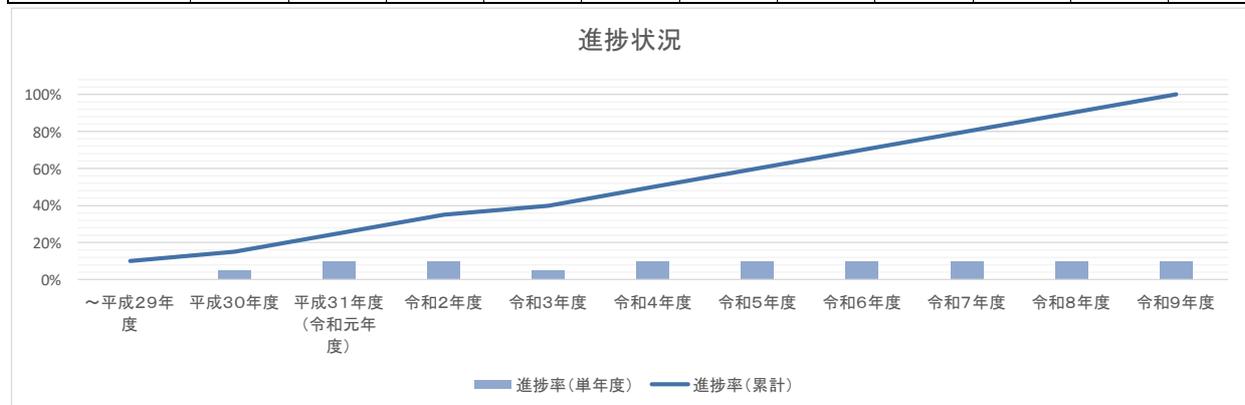
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金及び負担金	185,000		185,000	一般社団法人十和田湖国立公園協会
	185,000		185,000	八幡平を美しくする会 南八幡平支部
	0			
	0			
	0			
	0			
合計	370,000	0	370,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		250	340	358	366	370	396	396	396	396	396
事業費 (累計)	1,623	1,873	2,213	2,571	2,937	3,307	3,703	4,099	4,495	4,891	5,287

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立自然公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

優れた風致景観を有する自然公園内における放置ゴミ等を回収・処理する美化清掃活動や不法投棄防止の啓発活動を支援することによって、国定公園及び県立自然公園の美化清掃を推進し、自然環境を清潔に保持する。  
2027年までに回収されるゴミの量を年間あたり60t以下にする。

2. 概要

自然公園が位置する地域ごとに清掃活動団体を育成し、その活動に要する経費の一部を負担する市町村に対し補助金を交付することで、自然公園の美化清掃を推進する。  
また、不法投棄防止の啓蒙活動をすることで、ゴミの排出抑制につなげる。

3. 根拠法令等

- ・自然公園法第19条
- ・秋田県環境基本条例
- ・秋田県生活環境部自然保護課関係補助金交付要綱

4. 実施内容等

○国定公園・県立自然公園の美化清掃活動を推進し、自然環境の清潔を保持するために清掃活動事業を行う清掃団体へ、市町村を経由して補助金を交付した。  
○県内の国定公園3カ所、県立自然公園3カ所において、6団体が60.4トンのゴミを回収した。  
内 訳：にかほ市 鳥海国定公園を美しくする会（鳥海国定公園）10トン  
湯沢市 湯沢市栗駒国定公園を美しくする会（栗駒国定公園）2トン  
男鹿市 男鹿を美しくする会（男鹿国定公園）45トン  
大仙市 真木真昼県立自然公園を美しくする会（真木真昼県立自然公園）2トン  
北秋田市 県立自然公園森吉山を美しくする会（森吉山県立自然公）0.3トン  
大館市 田代岳を愛する会（田代岳県立自然公園）1.1トン  
時 期：令和4年4月～令和5年3月

令和4年度 事業報告書

事業名	自然公園美化対策事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園美化対策（国定公園・県立自然公園）	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

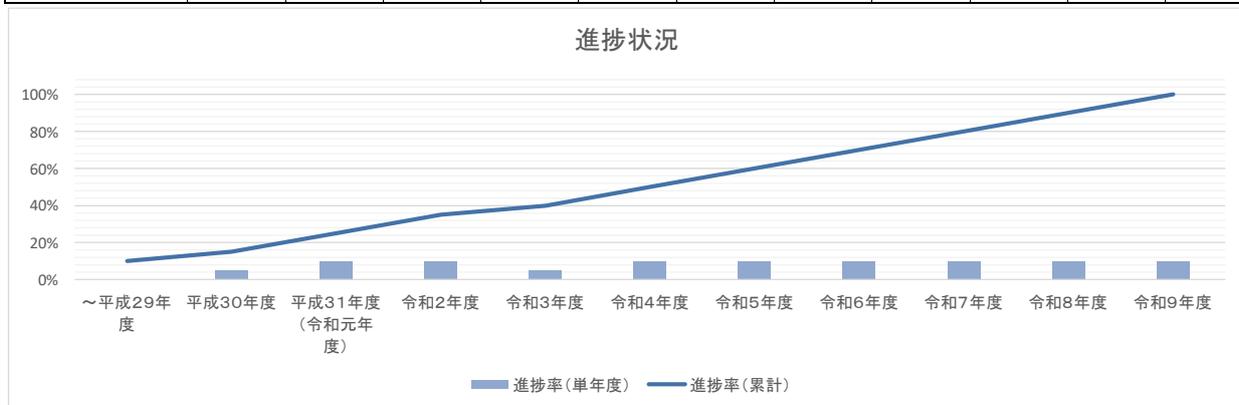
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金及び負担金	82,000		82,000	にかほ市
	111,000		111,000	湯沢市
	356,000		356,000	男鹿市
	82,000		82,000	大仙市
	134,000		134,000	北秋田市
	82,000		82,000	大館市
合計	847,000	0	847,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		880	941	973	997	847	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077
事業費 (累計)	3,501	4,381	5,322	6,295	7,292	8,139	9,216	10,293	11,370	12,447	13,524

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		5%	10%	10%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)	10%	15%	25%	35%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

【目的】  
白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

【目標】  
白神山地をフィールドにした自然体験教室を令和9年度まで継続し、定員（各回20名、計100名）に対する参加率80%以上を継続させる。

## 2. 概要

白神山地の価値や素晴らしさを、次代を担う子どもたちに伝えることで、自然に親しみ自然を大切に感じる心を養うための環境教育を実施する。また、その結果として白神山地世界遺産を将来にわたって保全していくための人材を育成することをめざす。

## 3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画
- ・秋田県環境基本条例

## 4. 実施内容等

世界遺産白神山地の価値や保全の大切さを次代を担う子どもたちへ伝えるため、白神山地をフィールドにした自然体験教室を夏季に、素波里園地をフィールドにした親子キャンプを秋季の2シーズンで開催した。

夏季は川や海での自然観察・体験、秋季はキャンプ場での自然体験やワーケーション体験などを実施した。多様な生き物、森・里・川・海のつながり、人との関わりなど、子どもたちが白神山地の豊かな自然環境からもたらされる恵みに気づき、保全活動に関心を持ってもらえる内容で実施した。

参加者を募る周知活動については、夏季は県央・県南の市町村教育委員会に、秋季は全県の市町村教育委員会に協力を依頼し、各小学校へ参加者募集チラシ等を配布した。

夏季：子ども61名

秋季：子ども16名、大人19名

## 令和4年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地環境教育推進事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

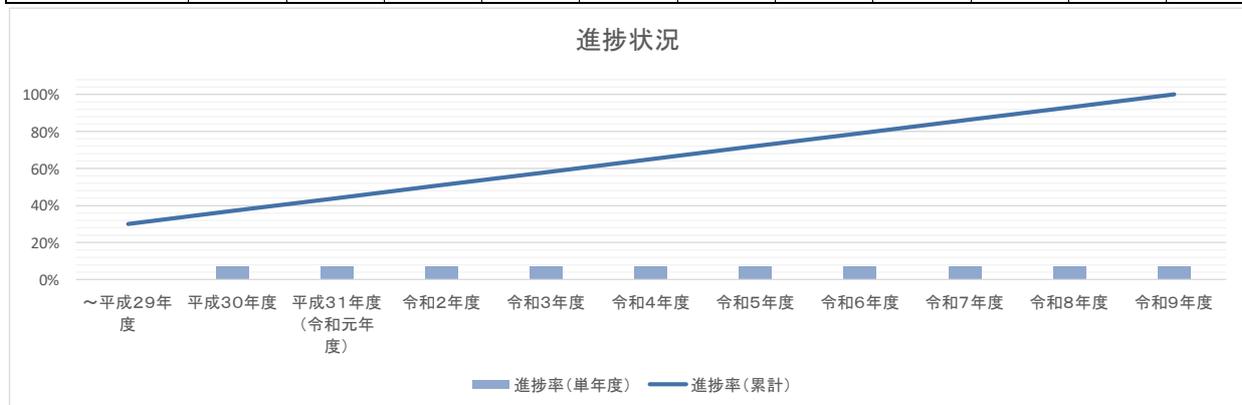
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	0			
旅費	18,359	18,359		
需用費	46,000	46,000		
役務費	4,482	4,482		
委託費	2,706,000		2,706,000	
使用料及び賃借料	16,000	16,000		
合計	2,790,841	84,841	2,706,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		2,167	2,383	2,934	2,159	2,791	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257
事業費(累計)	7,009	9,176	11,559	14,493	16,652	19,443	21,700	23,957	26,214	28,471	30,728

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	白神山地利活用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

世界遺産白神山地の生態系や生物多様性の保全を図り、その価値と魅力を将来に伝えていくために認定した「あきた白神認定ガイド」に対し、更新講習及び面接指導等を実施し、育成を継続する。

## 【目標】

認定期間が終了する「あきた白神認定ガイド」のうち80%以上を更新させる。

## 2. 概要

白神山地の魅力や価値は一見して理解されづらいため、それらを分かりやすく伝えることができる白神ガイドの存在は不可欠である。平成30年度～令和2年度の3年間で、世界遺産白神山地におけるガイド及び保全活動に関心のある人を対象に、白神山地に関する知識やガイド技術等を習得してもらうための講習・試験を実施し、白神ガイドとして認定した。白神ガイドとしての認定期間は3年間であるため、更新講習・面接を実施し、ガイド水準を維持することによって、世界遺産としての白神山地の価値や魅力が多くの人に伝わり、白神山地の保全意識の気運を高めることに繋げる。

## 3. 根拠法令等

- ・白神山地世界遺産地域管理計画
- ・秋田県環境基本条例

## 4. 実施内容等

## 講習・面接

- 講習：年間3回実施（5/29：二ツ森、9/25：水沢川、10/30：岳岱）
- 面接：各講習後に実施（5/29：3名、9/25：更新対象者なし、10/30：3名）
- 更新：5名

## 令和4年度 事業報告書

事業名	白神山地利用推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	白神山地総合ガイド育成事業	開始年度	平成26年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

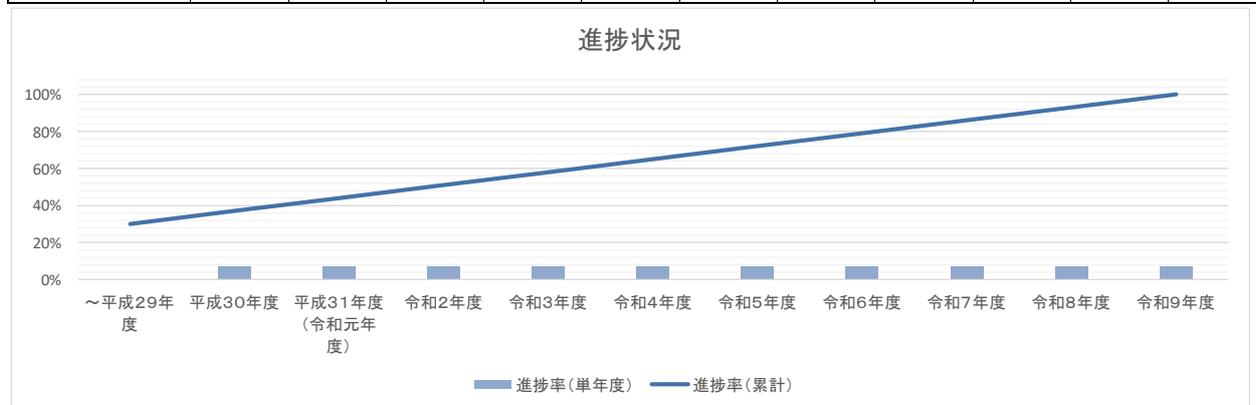
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
需用費	107,000	107,000	0	
役務費	0	0	0	
委託料	1,325,500		1,325,500	
使用料及び賃借料	16,000	16,000	0	
合計	1,448,500	123,000	1,325,500	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		4,087	3,461	3,473	1,421	1,449	1,496	1,496	1,496	1,496	1,496
事業費(累計)	8,909	12,996	16,457	19,930	21,351	22,800	24,296	25,792	27,288	28,784	30,280

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
進捗率(累計)	30%	37%	44%	51%	58%	65%	72%	79%	86%	93%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	生物多様性の保全に関する普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

秋田県では生物多様性基本法に基づき、本県の生物多様性の保全と持続可能な利用を目指すため、令和3年3月に「秋田県生物多様性地域戦略(2021-2030)」を策定した。

しかし、本県では「生物多様性」という言葉そのものが十分に浸透しておらず、より多くの県民に、より早い段階で生物多様性の意味とその保全の重要性を認識してもらい、地域レベルや個人レベルでの取組に繋げていく必要があることから、普及啓発活動を継続的に行い、県民一人ひとりの理解促進を図る。

## 【目標】

生物多様性の理解を深めてもらうためには、野外体験や自然観察会など自然と触れ合う機会を増やすことが大切である。県ホームページやリーフレットなどによる情報発信を行い、県で管理している環境と文化のむら（五城目町）、奥森吉青少年野外活動基地（北秋田市）、森吉山野生鳥獣センター（北秋田市）の利用者数の増加に繋げる。

平成31年度における3施設の利用者総数、約2万1千人から、令和9年度末には3万人の利用者数をを目指す。

単年度目標 1,290人以上の利用者 × 7ヶ年 ≧ 9千人以上

## 2. 概要

令和3年度は生物多様性という言葉の意味や重要性を知ってもらうきっかけづくりとしてもらうために、県内の小中学生を対象にリーフレットを配布することとしている。令和4年度はこのような普及啓発の取組を強化するため、環境保全活動へ参加した経験が少ない若年層を対象に動画広告を活用した普及啓発を行う。なお、事業の対象とする10代～30代の県人口は、令和2年10月1日現在216,069人である。

さらに、横手市で地元の小学生を集めて、安本自然環境保全地域の魚類を観察する生き物調査を実施する。

## 3. 根拠法令等

- ・生物多様性基本法
- ・生物多様性国家戦略
- ・持続可能な開発目標（SDGs）
- ・秋田県生物多様性地域戦略（2021-2030）

## 4. 実施内容等

秋田県生物多様性地域戦略[2021-2030]に基づき、生物多様性の意味とその保全の重要性に関する普及啓発の取組を強化するため若年層向けの動画広告をpart1～part3まで作成し、配信した。

- ・動画part1：あなたの足元に新発見?! | LOVE LIVES AKITA ～秋田県と生物多様性 part1  
(<https://www.youtube.com/watch?v=g96rRWGu0VM&t=0s>)
- ・動画part2：ハタハタがいなくなるとどうなるの? | LOVE LIVES AKITA ～秋田県と生物多様性 part2  
(<https://www.youtube.com/watch?v=SA2BecallGA&t=0s>)
- ・動画part3：秋田犬にニホンオオカミのDNA? | LOVE LIVES AKITA ～秋田県と生物多様性 part3  
([https://www.youtube.com/watch?v=k0c\\_Kd2hLgo](https://www.youtube.com/watch?v=k0c_Kd2hLgo))

また、安本自然環境保全地域における地元小学生向けの魚類観察会として、定置網およびもんどりによる魚類採捕を実施し、タイリクバラタナゴやアメリカザリガニの影響やキタノアカヒレタビラの生態等について説明を行った。

令和4年8月19日（金）

参加者：小学生20名

令和4年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	生物多様性の保全に関する普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

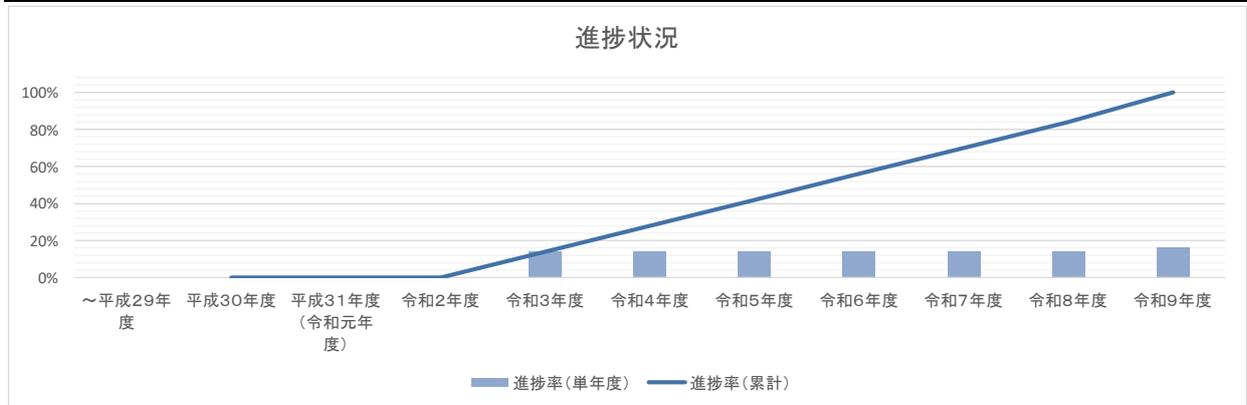
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	70,000		70,000	
講師旅費	3,885		3,885	
委託費	1,485,000		1,485,000	
	0			
	0			
	0			
合計	1,558,885	0	1,558,885	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)					627	1,559	1,105	1,105	1,105	1,105	1,105
事業費 (累計)		0	0	0	627	2,186	3,291	4,396	5,501	6,606	7,711

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)					14%	14%	14%	14%	14%	14%	16%
進捗率 (累計)		0%	0%	0%	14%	28%	42%	56%	70%	84%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	奥森吉青少年野外活動基地宿泊型環境学習会	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b> 秋田県生物多様性地域戦略（2021-2030）の行動計画に基づき、本県の生物多様性の保全に関する普及啓発活動として、奥森吉青少年野外活動基地を拠点に、次代を担う子ども等に対して自然環境教育の機会を提供し、SDGsの理解促進や自然保護意識の育成を図る。</p> <p><b>【目標】</b> 環境教育事業参加者数：40人／年</p>
--

2. 概要

<p>奥森吉青少年野外活動基地において従来実施していなかった宿泊型の環境教育を実施することにより、日帰りでは実施できなかった夜間早朝を含めた森吉山周辺の自然観察会を実施する。特に特定外来生物（オオハンゴンソウ）の駆除などの体験を通じて生物多様性やSDGsへの理解を深めてもらえるメニューを提供する。</p>
---

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性基本法</li> <li>・秋田県立自然公園条例</li> <li>・秋田県奥森吉青少年野外活動基地条例</li> <li>・秋田県生物多様性地域戦略（2021-2030）</li> </ul>
--

4. 実施内容等

<p>秋田県生物多様性地域戦略[2021-2030]の行動計画に基づき、本県の生物多様性の保全に関する普及啓発活動として、奥森吉青少年野外活動基地を拠点に、県内の小学3年生とその家族を対象に1泊2日で、周辺地域の豊かな自然環境を体験する宿泊型環境学習会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 令和4年7月23日（土）～令和4年7月24日（日） 内 容：森探検、自然素材クラフト工作、コウモリ観察会、桃洞の滝散策、溪谷遊び 等 参加者：7名</li> <li>・第2回 令和4年9月3日（土）～令和4年9月4日（日） 内 容：森探検、桃洞の滝散策、星空観察会、溪谷遊び 等 参加者：12名</li> </ul>
---

令和4年度 事業報告書

事業名	秋田県生物多様性地域戦略推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	奥森吉青少年野外活動基地宿泊型環境学習会	開始年度	令和3年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

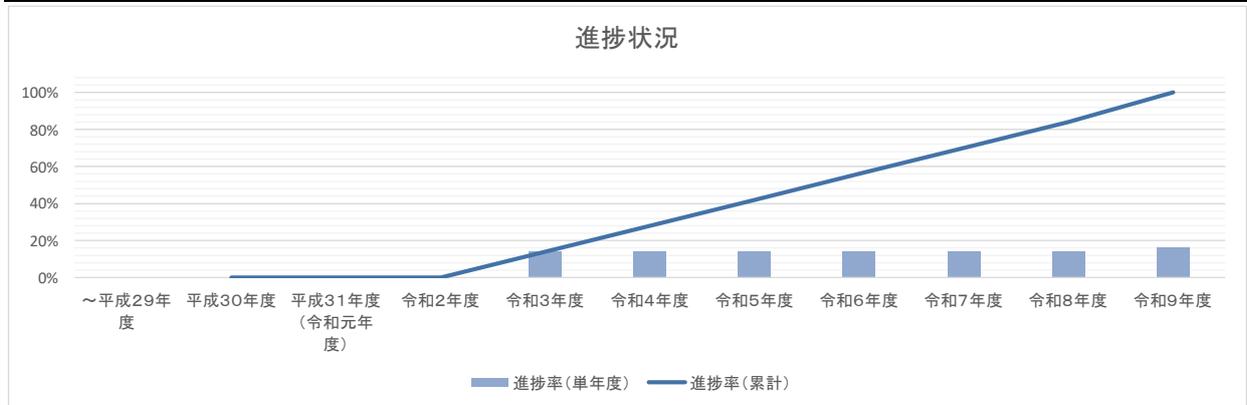
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	64,350		64,350	
借料	0			
委託費	990,000		990,000	
負担金	0			
合計	1,054,350	0	1,054,350	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					517	1,055	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
事業費(累計)		0	0	0	517	1,572	3,472	5,372	7,272	9,172	11,072

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					14%	14%	14%	14%	14%	14%	16%
進捗率(累計)		0%	0%	0%	14%	28%	42%	56%	70%	84%	100%



令和4年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b>                  秋田県では、ツキノワグマによる人身及び農作物被害が毎年発生し、県民の安全安心な生活を脅かしているほか、農作物被害に伴う経済的影響及び就農意欲の低下が大きな社会問題となっており、ツキノワグマと人の軋轢を軽減させる必要がある。</p> <p>また、近年、全国的に大きな被害をもたらしているニホンジカやイノシシの生息域が県内でも拡大してきている。こうした人と野生鳥獣を取り巻く状況の変化を踏まえ、ツキノワグマをはじめとした野生鳥獣の適正な保護及び管理を推進していくためには、県民をはじめ関係機関や関係団体等の理解や協力が欠かせないことから、野生鳥獣の生態や被害防止への関心を高めるとともに理解を深め、人身及び農作物被害軽減のための県民一人一人の取組を促進する必要がある。</p> <p><b>【目標】</b>                  目標値：出前講座を毎年15回以上または500人以上に対して実施する。</p>
---

2. 概要

<p>野生鳥獣被害防止対策の必要性や重要性を広く啓発するため、県民を対象とした野生動物生態講座用の読本を増刷したほか、クマ被害への注意を喚起するチラシを配布し、県民へクマ被害防止方法の啓発を行う。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第5次ツキノワグマ）                  鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律                  鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律</p>
---

4. 実施内容等

<p>○出前講座等                  出前講座やセミナー等で使用する教材「クマの生態と対策について」の読本を全県の小中学生へ配布し、クマの接し方について啓発する。「クマの生態と対策」について、わかりやすく、正しい知識の普及啓発のため、クマの足形などのクマキットと読本等を作成し、出前講座等を実施した。</p> <p>出前講座実績                  件数（研修・講座）：29件                  受講者数：延べ1,744人</p> <p>○クマの注意喚起チラシの配布                  クマ被害への注意を喚起するチラシを配布し、県民へクマ被害防止方法の啓発を行った。                  作成部数：15,000枚                  配付先：各市町村、県有施設、警察署ほか</p>
---

令和4年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

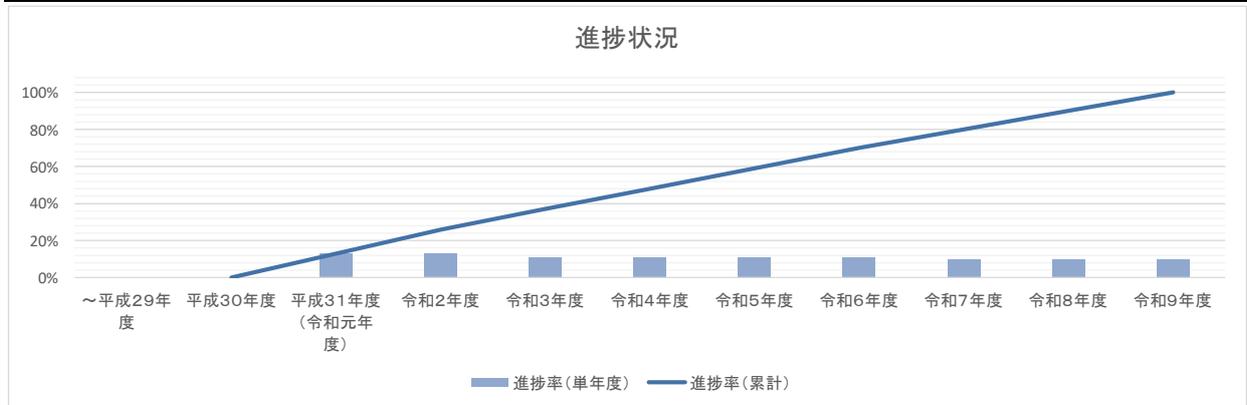
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	864,000		864,000	読本作成・配布
需用費	42,900		42,900	クマの注意喚起チラシ作成
	0			
	0			
	0			
合計	906,900	0	906,900	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		0	641	2,174	1,041	907	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650
事業費 (累計)		0	641	2,815	3,856	4,763	6,413	8,063	9,713	11,363	13,013

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			13%	13%	11%	11%	11%	11%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)		0%	13%	26%	37%	48%	59%	70%	80%	90%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（野生鳥獣対策促進フォーラム）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

秋田県では、ツキノワグマによる人身及び農作物被害が毎年発生し、県民の安全安心な生活を脅かしているほか、農作物被害に伴う経済的影響及び就農意欲の低下が大きな社会問題となっており、ツキノワグマと人の軋轢を軽減させる必要がある。

また、近年、全国的に大きな被害をもたらしているニホンジカやイノシシの生息域が県内でも拡大してきている。こうした人と野生鳥獣を取り巻く状況の変化を踏まえ、ツキノワグマをはじめとした野生鳥獣の適正な保護及び管理を推進していくためには、県民をはじめ関係機関や関係団体等の理解や協力が欠かせないことから、野生鳥獣の生態や被害防止への関心を高めるとともに理解を深め、人身及び農作物被害軽減のための県民一人一人の取組を促進する必要がある。

## 【目標】

フォーラム参加者数：200人以上/年

## 2. 概要

野生鳥獣被害防止対策の必要性や重要性を広く啓発するため、県民を対象としたフォーラムを開催する。

## 3. 根拠法令等

秋田県第二種特定鳥獣管理計画（第5次ツキノワグマ）  
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律  
鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律

## 4. 実施内容等

開催日：令和4年7月10日（日）

場 所：秋田県立総合射撃場

参加者：62名

## 実施内容

- 狩猟免許取得相談
- 標的射撃見学
- ビームライフル射撃体験
- シューティングシミュレーター体験
- ジビエ料理試食
- 模擬銃・畏れ具・鳥獣写真・パネル等展示

令和4年度 事業報告書

事業名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	野生鳥獣の保護管理と被害防止対策等の普及啓発事業（野生鳥獣対策促進フォーラム）	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

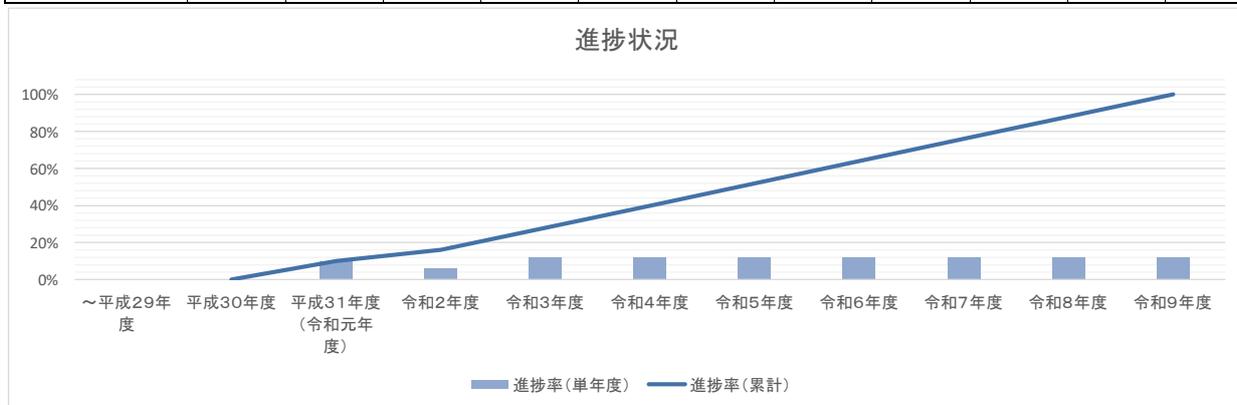
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託料	1,000,000	100,000	900,000	野生鳥獣対策推進フォーラムの実施に係る業務（事前準備に係る経費：281千円、チラシ・ポスター作成費：257千円、その他消耗品等172千円）
	0			
	0			
	0			
	0			
合計	1,000,000	100,000	900,000	(単位：円)

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		0	402	432	710	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
事業費（累計）		0	402	834	1,544	2,544	3,544	4,544	5,544	6,544	7,544

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）			10%	6%	12%	12%	12%	12%	12%	12%	12%
進捗率（累計）		0%	10%	16%	28%	40%	52%	64%	76%	88%	100%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	環境産業活性化推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	認定リサイクル製品利用拡大推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和4年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 県民意識調査において、県へ期待する活動の設問に対し、「ごみなどを原料としたリサイクル製品の普及活動」が上位となっており、県民の関心は高いことから、優れたリサイクル製品を県が認定し、その利用拡大を図りながら県民への認知度を高めるため、リサイクル製品に関する普及啓発を行う。</p> <p>【目標】 県認定リサイクル製品の認定数（累積）：436製品</p>
--

## 2. 概要

<p>認定リサイクル製品の新たな利用拡大を図るため、環境学習及び各種環境イベントにおいて、認定リサイクル製品のサンプル展示及びパネル等による普及啓発活動を実施する。</p>
--

## 3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"><li>・秋田県リサイクル製品の認定及び利用の推進に関する条例</li><li>・秋田県環境基本条例</li><li>・第3次秋田県環境基本計画</li></ul>
--

## 4. 実施内容等

<p>○環境学習及び各種環境イベントでのPR活動 リサイクル認定製品の展示、PR資料展示を環境団体へ委託して県民への普及啓発を図った。</p> <p>委託者：NPO法人環境あきた県民フォーラム 理事長 佐藤 充 実績：秋田県認定リサイクル製品の展示によるPR事業（開催日・開催場所） 令和4年11月1日（火）横手市交流センターY2（わいわい）ぶらざ（横手市） 令和4年11月10日（木）大館市北地区コミュニティセンター（大館市） 令和4年11月15日（火）秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎（秋田市） 令和4年12月7日（水）～12月9日（金）東京ビッグサイト（エコプロ2022）（東京都） 令和5年1月13日（金）～1月26日（木）秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎（秋田市） 令和5年1月28日（土）～2月1日（水）秋田市にぎわい交流館 AU（秋田市）</p> <p>認定製品PR用チラシの製作及び配布 両面1,000部</p>
--

令和4年度 事業報告書

事業名	環境産業活性化推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	認定リサイクル製品利用拡大推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和4年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	590,141		590,141	秋田県認定リサイクル製品展示PR業務委託
負担金	0			
合計	590,141	0	590,141	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)			544	538	590	591					
事業費 (累計)		0	544	1,082	1,672	2,263	2,263	2,263	2,263	2,263	2,263

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)			0.7%	0.7%	0.7%	0.7%					
進捗率 (累計)		94.7%	95.4%	96.1%	96.7%	97.4%	97.4%	97.4%	97.4%	97.4%	97.4%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

本県の恵まれた環境をより豊かなものとして将来の世代に継承していくため、県民が組織する民間団体が地域住民等に対し自主的に行う環境保全活動を支援することにより、県民が環境保全の意義や重要性を理解するとともに、環境保全活動の自主的行動を促進する。

## 【目標】

補助事業による環境保全活動等への参加者を令和9年度までに延べ3,600人以上にする。

## 2. 概要

秋田県環境基本条例第16条に基づき、民間の団体が地域住民等に対して自主的に行う環境保全活動に要する経費を支援する。

## 3. 根拠法令等

- ・秋田県環境基本条例
- ・第3次秋田県環境基本計画

## 4. 実施内容等

## ○環境あきたエコ活動促進支援事業

県民に対して、民間の団体が自主的に行う環境保全活動に要する経費の助成に係る費用を中間補助事業者に交付し、中間補助事業者の審査を経て、環境保全の普及啓発事業を行う団体に助成を実施した。

事業費内訳 : 予算額（補助金） 2,000,000円 ; 実績額 2,041,141円  
 予算額（事務費） 750,000円 ; 実績額 708,859円  
 予算額（計） 2,750,000円 ; 実績額 2,750,000円

NPO等の環境保全団体に対して、次のとおり助成を行い、県民の環境保全の取組み支援及び普及啓発を実施した。

助成団体 8団体 助成額 2,041,141円

取組事例 おのぼホテル会（地域の小学生とともに、ホテルの観察及び保護増殖活動等を実施）

横堀地域づくり協議会（桜並木周辺の環境整備、桜の折れた枝をチップとして再利用・有効活用する活動を実施）

8団体延べ参加人数932名（小中学生及びその保護者、県民など）

## 令和4年度 事業報告書

事業名	環境あきたエコ活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境あきたエコ活動促進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

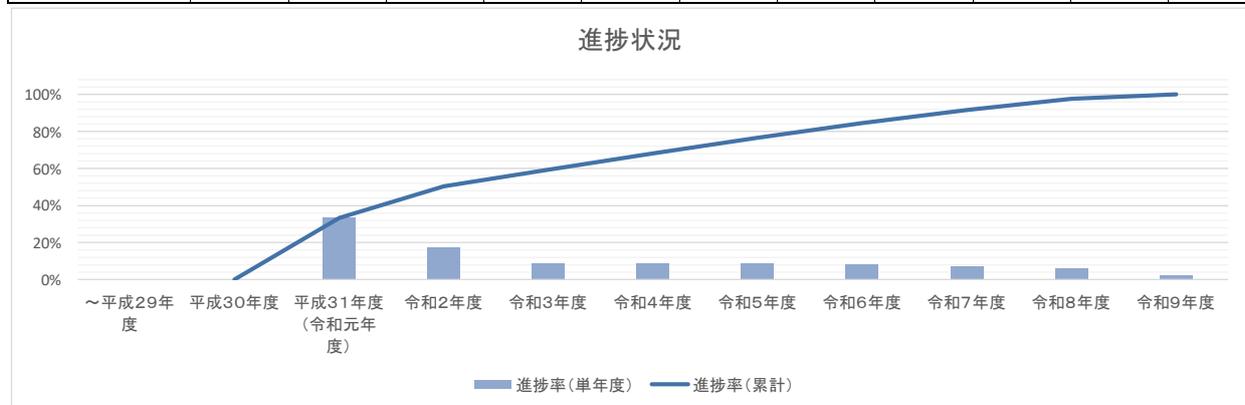
## 5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
負担金(補助金)	2,750,000		2,750,000	補助金(事務費含む)
合計	2,750,000	0	2,750,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)			2,617	2,624	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750
事業費(累計)		0	2,617	5,241	7,991	10,741	13,491	16,241	18,991	21,741	24,491

## 6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)			33.3%	17.1%	9.0%	8.8%	8.4%	8.0%	7.0%	6.0%	2.4%
進捗率(累計)		0.0%	33.3%	50.4%	59.4%	68.2%	76.6%	84.6%	91.6%	97.6%	100.0%



## 令和4年度 事業報告書

事業名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	新規・継続区分	新規
事項名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b> 本県の環境施策の指針となる環境基本計画について、その計画の推進には、県民、NPO団体、行政のすべての主体の参加が必要であることから、広く県民等に環境保全の方針や施策について周知し、環境保全の自主的な活動に対する意識の醸成を図る必要がある。</p> <p><b>【目標】</b> 環境基本計画周知のためのウェブサイトの閲覧数を令和9年度まで延べ10,000件/年以上にする。（県人口の1%相当） 集計外指標として、小中学校用の環境教育の副読本等としての活用を図る。</p>
--

## 2. 概要

<p>秋田県環境基本条例に基づく、基本計画の周知について、紙媒体による普及啓発ではなく、環境に配慮した形で、ウェブサイトにより、環境基本計画の概要を周知する。合わせて、環境に関わるSDGsの取組みや活動等も分かりやすく表現し、県民等の環境保全意識の醸成を図る。</p>
--

## 3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県環境基本条例</li> <li>・第3次秋田県環境基本計画</li> </ul>
---

## 4. 実施内容等

<p>○秋田県環境基本計画等普及啓発WEBサイト「あすも」PR及び保守管理業務委託</p> <p>令和3年度に作成した秋田県環境基本計画等普及啓発WEBサイト「あすも」のコンテンツ内容を充実させるとともに、認知度を向上させより多くの県民に利用してもらうため、インターネット広告による周知広報を実施。</p> <p><b>【動画コンテンツの作成】</b> ・県内の民間団体等が自主的に行っている環境配慮の取組事例を取材し、動画コンテンツとしてサイトに掲載 （1）株式会社ナイス （2）サンデー秋田御野場店 （3）横堀地域づくり協議会</p> <p><b>【WEBサイトの周知・広報】</b> ・インターネット広告（Google、Yahoo!、LINE、Facebook等） （1）環境月間（6/6～6/30） （2）食品ロス削減月間（10/1～10/31） （3）冬季の省エネ期間（1/17～2/15）</p>
--

令和4年度 事業報告書

事業名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	新規・継続区分	新規
事項名	秋田県環境基本計画等普及啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	環境管理課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	2,871,550	0	2,871,550	ウェブサイトPR・保守管理業務委託費
負担金(補助金)	0			
合計	2,871,550	0	2,871,550	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)					2,786	2,872	2,982	2,982	2,982	2,982	2,982
事業費(累計)		0	0	0	2,786	5,658	8,640	11,622	14,604	17,586	20,568

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)					10.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%
進捗率(累計)		0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	25.0%	40.0%	55.0%	70.0%	85.0%	100.0%

